

図の上部には、次の文がある。

神力民五郎 中村芝翫

左門さまこれへお出なされて下さりませ

今改めて申さずともしれた

事でハムリ升がおまへ

さまの御親父左太夫

殿の御弟子となり

神影流しんかげりゅうのけいこなし

ついに一チ度まけた

事がござりませぬ

から此土地へ参り

ましても人に親分／＼と

立られ升も師匠しせうのおかげ御おん八やわすれ八致ませぬ

その御子息しやくのおまへさまゆへおせわいたすも御恩おくり

モシ又金の入る事でもムリ升なら御遠慮なく

おつしやりませ御ご自由じゆう八やさせませぬから

わるい噂うわさのないやうにお身を大事二

つゝしんで夜あるきをして下さり升な

三つ嶋左門

澤村納升

若^{わか}氣^けのいたりにかんだう

受^う師^け弟^{してい}のゑんにおぬしを

たより食^{しょく}客^{かく}であるこの

左門すきな酒さへ

つゝしんで

わるいミ

をきかさぬ

に夜あるきを

するなと八片そで

を引きられ大まい

百両といふ金をもつてゐるゆへ此左門がモシ切

取でもいたしたかと神力お主八思つてゐるか

白滝左吉 坂東彦三郎

コレ神力そついふそでねへこなたとしらず

兄^{きやう}弟^{だひ}の義をむすんだが口おしいけふから義^ぎ絶^{ぜつ}

をするしるし五十両で今^か買^つた此片袖八おきニやげ

ぼんの上のやり取じやアたゞ取るやうな事もあるが
人のもの八百銭言枚取た

事のねへしら滝かりにも兄といつただけ世間の人に
めんぼくねへアゝいめへましい事だなア

奇妙院 尾上菊五郎

△元八上総かづさの久留里くゑり生れうましやれにうたつた

舟玉からさんげくゝとすがたへをかへ六こん

しやうとく

しよつぶ

つきみそか

くゝのかた

じめに

いつか三ツ

ぼの狐きつねを

つかひ人を化ばかした

身ミの科とがで果ハテハふどつ

のかなしバリばくのなハにも

二三度かゝり生うれ古郷こけいを

はらハれて今岩岡いはおかの一子分いっしぶん

化ばけたしゆげんの衣ころもをぬきやア

野のぎつねかん次と

いふものだ